



金目 川水系流域 **ネット** ワーク
世話人会

せせらぎ通信

金目川で出会える野鳥(いろいろ)

佐藤 道夫

前号に続き、金目川(花水川)で会うことができた野鳥を紹介してみたい。今回は写真を中心に説明を最小限にした。

オオタカ、アマサギ、キセキレイ、コゲラ、カワラヒワは、その姿を楽しんでいただきたい。カルガモが亀

に乗っているのは岩と間違えているのだろう。亀は迷惑そうであった。カワセミがあくびをしながら伸びをしていた。コサギは春の短い時期に足の指などがピンク色になる。カル

ガモ親子がカラスに追われて必死に逃げていた。メジロの雛は親と違って丸々としていた。ハシブトガラスの両親が揃って雛に給餌していた。(完了)



オオタカ 幼鳥



コゲラ



コサギ 婚姻色



カワラヒワ



カルガモ 親子



アマサギ



カルガモ 亀に乗る



メジロ 巣立ち雛



キセキレイ



カワセミ あくびをする



ハシブトガラス 雛に給餌

2010年より、近隣の河川水の水質を継続して測定している。ここでは含有元素の測定結果を紹介する。

図1に示した金目川の上流・中流・下流において、冬期と夏期における、含有元素の測定結果を表に示した。

測定値は環境基準値と同じ単位である1L中に含まれる何mg含まれるかを示すmg/Lで表した。

pHは夏期は約6.5, 冬期は8付近であり、相模川とほぼ同様の傾向であった。カドミウムや鉛、ヒ素は検出されず、下流域のホウ素を除き環境基準値は概ね達成されていた。下流域では海水の流入によるためである。

一般に下流に行くに従って元素濃度は高くなる。2011年夏の測定結果は全体に高い値であったが、その後徐々に低下し、1年後には平均的な値となった。震災の影響と考えられた。中流域は平塚市でも継続して測定されている地点に近く過去のデータと比較することができる。

金目川の元素含有量について紹介した。私たちの研究室では相模湾の海水や早川・酒匂川の河川水もあわせて継続して測定している。

川辺を歩かれるときなどサンプリングの学生を見かけた折にはお声かけいただければ幸いです。

図 金目川の採水地点



金目川河川水の測定

神奈川大学理学部西本研究室
大学院生 猪股尚也

表 金目川河川水の測定結果

(mg/L)

採水日	地点	カルシウム	ナトリウム	ケイ素	マグネシウム	カリウム	ストロンチウム	ホウ素	鉄
2010/12/7	上流	20.36	9.66	12.89	7.33	2.17	0.06	0.01	0.02
	中流	25.42	15.60	13.46	8.12	3.36	0.07	0.01	0.02
	下流	30.47	22.65	14.35	10.12	5.54	0.09	0.01	0.06
2011/7/15	上流	26.74	11.73	14.98	7.53	2.17	0.06	0.03	0.02
	中流	31.88	25.33	15.23	7.96	7.07	0.07	0.04	0.02
	下流	27.86	17.99	12.13	11.64	5.25	0.06	0.03	0.09
2011/12/15	上流	23.00	9.58	13.17	7.71	2.21	0.06	0.03	0.02
	中流	28.88	14.45	13.33	8.70	3.77	0.06	0.03	0.01
	下流	34.51	25.44	13.75	10.32	5.48	0.08	0.04	0.06
2012/7/28	上流	20.89	7.43	12.77	7.06	1.14	0.05	0.01	0.01
	中流	26.53	15.95	13.17	7.81	3.34	0.06	0.01	0.01
	下流	28.03	19.22	12.33	8.13	4.17	0.07	0.03	0.04
2012/12/11	上流	23.12	8.72	12.74	7.96	1.56		0.02	-
	中流	29.12	14.92	12.95	8.85	4.24		0.02	-
	下流	33.71	19.89	14.58	10.61	6.04		0.03	-
2013/8/26	上流	22.04	10.78	14.65	8.37	4.76	0.06	0.14	-
	中流	26.90	19.78	14.74	9.19	7.18	0.07	0.14	-
	下流	24.51	16.87	12.36	9.20	4.18	0.08	0.09	0.04
2013/12/3	上流	20.64	9.55	14.68	7.32	1.49	0.05	0.07	-
	中流	25.03	20.66	14.67	7.84	3.71	0.05	-	0.01
	下流	27.92	21.87	14.29	9.13	4.56	0.06	-	0.03
2014/9/23	上流	27.09	9.99	13.77	8.29	2.80	-	0.03	-
	中流	28.91	14.20	13.14	8.14	4.31	-	-	-
	下流	27.73	17.43	12.48	8.43	4.22	-	-	0.01



サンプリングの様子



金目川（花水川）の将来を思う

府川 きよし

平塚は風水害がよけて通る。とよく言われますが、台風一七、一八号による洪水の報道を見ていると、これからはそうとも思えません。被災者の悲嘆と苦勞を察します。他人ごとではありません。

昨年の十月六日の台風による豪雨は、あと一以増水したら土手から泥水が流れ出ています。今回も我家の庭に置いたバケツは雨水で溢れていました。夜中の数時間の雨量は三〇〇ミリ近くあったと思われれます。

百年以上前に相模川と花水川が溢れ、町が水浸しになり救援の船もでた、という長老の話も伝えられています。金目川流域でも大水害が起きることを想定し、災害を小規模に食い止める減災へのふだんの取り組みが大切です。

子どもの頃からよく川遊びをした、金目川（花水川）がこれからどうなっていくのか。このことに強い関心があります。さいきん川の姿が変わっています。水害に備え川幅が広がり、土手も高くなり、柳など雑木が育ち増えたせいとか、ウグイスの鳴き声がよく聞こえるようになり、野鳥が増えてくるのではないかと。



川の水も汚染が減り、鮎など生き物が増えています。しかし、匂いはまだドブ臭く、子どもが泳げる状態ではありません。河川敷へ入りにくく、土手から川の様子が見えなくなっている所もあり、川と暮らしは切り離されています。

ほんらい川は平地では蛇行するものですが、洪水対策、耕地確保のため直線化した川になっています。自然の流れはどこにもなく、人間が管理する用水路です。それならなおさら、流域に暮らす住民に里川といえる川であってほしいものです。

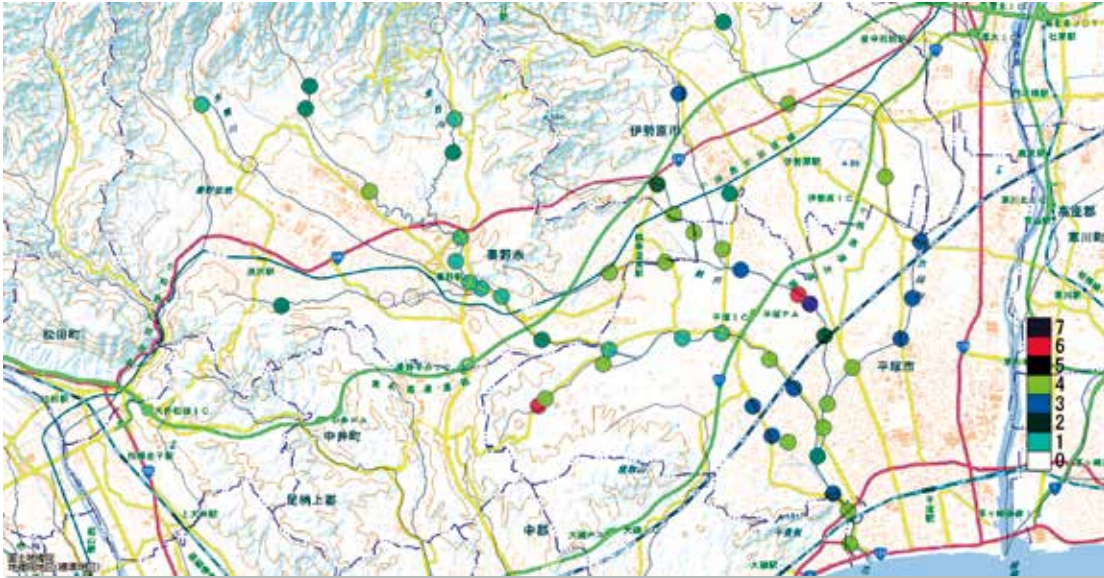
昔のように子ども達が泳いだり、魚釣り、シジミ採りなどができる川にしたいものです。神奈川県が管理している二級河川である花水川を将来どういう川にしていくのか。湘南里川づくりみんなの会で取り組みたいものです。そういう場ができれば、喜んで参加します。

2015年の月現在
河川の汚れの原因について気付きのきっかけに

CODとは化学的酸素消費量。水の汚れの有機物を薬品で化学反応させるときに消費される酸素の量で水の汚れを示す代表的な指標です。

きれいな川は
1からlower than.
値が多きうほん
水の汚れの
有機物が多い。

文責 柳川 三郎
マップ 佐藤 道夫



「湘南里川づくり」取組みのご紹介 ～ イベントのご案内 ～

“湘南里川(さとかわ)づくり”とは、湘南地域のふるさとの川である金目川水系の河川等を、次世代を担う子どもたちに引き継いでいくため、市民主体による清掃、植栽、生き物観察会などの河川等の保全・活用を、流域全体に広げていく取組みです。

みんなの会の構成員である「湘南里川見守り隊」は環境関連イベントを実施しております。みんなの会ホームページで紹介しておりますので、ぜひご参加ください。

また、みんなの会としても今秋はつるまき市民ふれあいまつりをはじめとして地域のイベントに出展する予定です。出展イベントにお越しになる際はぜひお立ち寄りください。



※今後の情報は決定次第、HPにて順次更新していきます。



湘南里川づくりに一緒に取り組む
「湘南里川見守り隊」を募集しています。
詳細は、ホームページで!

里川づくり

検索

●お問い合わせ先
湘南里川づくりみんなの会事務局
神奈川県湘南地域県政総合センター 企画調整課
電話 (0463) 22-2711 (内線2111~3)
ホームページアドレス <http://www.satokawa.com/>